

## 第20回全日本フルコンタクトテコンド-選手権大会 要項

【1】名称 第20回全日本フルコンタクトテコンド-選手権大会 - ITA杯無差別級王者日本一決定戦

【2】主催 日本テコンド-協会

【3】後援 東京都、G B R

【4】目的

- 1, 日本におけるフルコンタクト・テコンド-の普及・発展を通じて、日本国民、在留外国人の健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。とりわけ健全なる青年および青少年育成に貢献する。
- 2, 日本で一番強いテコンド-家=無差別級王者をフルコンタクト・テコンド-ルールで決定する。
- 3, 本試合とその練習過程を通じ、フルコンタクト系武道界における相対的な競技力向上をはかる。  
「フルコンタクト系空手に勝とも劣らないフルコンタクト・テコンド-」を目指す。

【5】開催日時

2009(平成21)年11月8日(日) 16:30開始(予定)

【6】開催場所

### 後樂園ホ-ル

東京都文京区後楽1-3東京ド-ム・シティ-内 TEL(03)3817-6092  
JR総武線・都営三田線 「水道橋駅」 徒歩3分  
地下鉄 丸の内線・南北線「後樂園駅」 徒歩2分、 有料駐車場有り

【7】出場資格

1, 出場枠

男子無差別級組手は、16名前後とする。  
女子無差別級組手は、8名前後とする。  
蹴武の型(男女混合)は、16名以内とする。

2, 出場資格

男子無差別級組手は、18歳以上の全日本FT大会選抜者基準を満たしたJTA有段者  
女子無差別級組手は、高校生以上の全日本FT大会選抜者基準を満たしたJTA有段者  
蹴武の型(男女混合)は、全日本FT大会選抜者基準を満たしたJTA有段者。年齢制限無し。

3, 全日本FT大会選抜者基準

優先出場順位第1位

前年度全日本FT選手権大会の入賞者(男子1位~4位、女子1位~2位、型1位~3位)  
なお、男子無差別級組手入賞者は、シード権者とし、準決勝戦迄、対戦しないよう配慮する。

優先出場順位第2位

本年度全日本フルコンタクトテコンド-選手権大会出場選手選考会(以下、「予選会」と称す)・  
関東大会、神奈川大会、中国大会、四国大会、中部大会、東京大会、関西大会、全日本学生大会の  
一部組手および一部蹴武の型試合の優勝者

優先出場順位第3位

本年度「予選会」の男子組手一部無差別級準優勝者。

#### 優先出場順位第4位・推薦

都道府県初のJTA加盟クラブを創設した「JTA都道府県パイオニア」に対する推薦。  
但し、「予選会」に出場していなければならない。  
本推薦は全日本FT大会出場経験を指導に生かし、当該クラブの活性化をはかることを目的とする。

#### 優先出場順位第5位・推薦

JTA加盟・都道府県連の役員・指導者に対する推薦。  
都道府県におけるフルコンタクトテコンドー普及のパイオニアではないが、  
既存のJTA加盟団体の理事・クラブ長・監督・コーチとなり日本跆拳道普及に貢献した者。  
但し、「予選会」に出場していなければならない。  
本推薦は全日本FT大会出場経験を指導に生かし、所属団体の活性化をはかることを目的とする。

#### 優先出場順位第6位・推薦

社会人選手推薦。  
社会人最終予選会・関西大会の組手一部または蹴武型一部に出場し、2～4位に入賞した者、  
または「予選会」で入賞した者。  
但し、JTA理事会の承認を得なければ取り消される場合もある。  
本推薦は全日本FT大会出場者を輩出することにより所属クラブの活性化をはかることを目的とする。

#### 優先出場順位第7位・推薦

大学生推薦。  
大学生最終予選会・全日本学生大会の組手一部または蹴武型一部に出場し2～3位に入賞した者。  
主将、主務、副主将等の部活役職者を対象とする。  
但し、JTA理事会の承認を得なければ取り消される場合もある。  
本推薦は全日本FT大会出場者を輩出することにより大学体育会の活性化をはかることを目的とする。

## 【8】試合種目・表彰

### 一、無差別級フルコンタクト・テコンドー組手試合（ト・ナメント戦）

#### 1、男子組手試合

- 優勝 トロフィー、大メダル、大賞状
- 準優勝 トロフィー、大メダル、大賞状
- 3位 大メダル、大賞状
- 4位 大賞状

#### 2、女子組手試合（ト・ナメント戦）

- 優勝 トロフィー、大メダル、大賞状
- 準優勝 大メダル、大賞状

<注意 女性部は参加人数の変動により、2位を表彰しない場合もある>

### 二、蹴武の型試合（男女混合）

- 優勝 トロフィー、大メダル、大賞状
- 準優勝 大メダル、大賞状
- 3位 大メダル、大賞状

### 三、最優秀選手賞・蹴美宗師範賞

1名

#### 1、ITA杯

特注大カップに歴代男女優勝選手の氏名を刻印する。  
次回大会まで優勝選手が保管し、次大会開会式で返却する。

#### 2、最優秀選手賞状

### 3、蹴美宗師範賞 奨学金30万円(上限)

#### 1) 奨学金の基準

- 初優勝 10万円。但し、蹴美に秀でるJTA現役クラブ長は20万円にする場合もある。  
2連覇 20万円  
3連覇 30万円

#### 2) 除外

本奨学金はJTAの理想=華麗で美しく威力のある蹴りを主とする優れた蹴美の選手を表彰するためのものである。  
従って蹴美力の劣る選手は除外する。例えば、回し蹴り主体の選手は該当しない。

#### 3) 最も望ましい受賞者

組手および蹴武の型のいずれも優勝した選手

### 4、東京都知事賞・最優秀選手賞

東京都所定の賞状を授与する。

### 5、コカコーラ・ゼロ2ケース贈呈(交渉中)

## 四、2010年度、全日本フルコンタクトテコンドー大会シード権

男子組手「ベスト4」、女子組手「ベスト2」、蹴武の型「ベスト4」入賞者に対し、  
2010年11月28日(日)午後4時30分  
後樂園ホール開催、第21回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会の出場権を与える。

## 五、蹴美新人賞

大賞状 1枚

全日本大会初出場選手の中、最も優れた新人選手1名を表彰する。但し、該当者がいない場合もある。

## 【9】試合ルール

### 一、男女無差別級組手試合

#### 1、JTAフルコンタクト・テコンドー・ルール

技有り・一本勝ち、蹴美7will、勝者負傷の場合限定の敗者復活戦、最高審判長審議  
延長戦で勝敗がつかない場合、体重測定を行い少しでも軽い選手を勝者とする等

#### 2、試合時間

- 1~2回戦 本戦2分1R。 延長戦2分(1R迄)  
準決勝戦 本戦2分1R。 延長戦2分(2R迄)  
3位決定戦 本戦2分1R。 延長戦2分(1R迄)  
決勝戦 本戦2分1R。 延長戦2分(3R以内)  
その他 本戦終了後、延長戦開始までの休憩は1分とする。

### 3、防具の着用、テ・ピング、コンタクト・レンズの禁止など

ヘッドギア - (青もしくは赤)

女性選手は、面付き防具を必ず着用しなければならない。

男性選手は、選手の希望により外すことができる。

手・足のテコンドー・防具(青もしくは赤)およびマウスピースを着用しなければならない。

男性は、ファールカップを必ず着用(道衣の中)しなければならない。

手のバンテ・ジヤ蹴り・突きの威力を増すための防具の着用は禁止する。発覚次第、失格。

上記以外の防具（スネ・膝・肘などのサポ - タ - ）の着用やテ - ピングなどは、事前に大会主催者に届け出、医務関係者の許可・検印を受けなければならない。試合で着用した防具、テ - ピング、包帯などは、体重判定の際、外すことはできない。試合中、コンタクト・レンズがはずれても中断しない。万一、中断した場合、減点2とする。その他は、必要に応じて主催者が定め選手に通知する。

## 二、蹴武の型試合

### 1、決勝戦進出者選抜

選手は、Aブロック、Bブロック、Cブロック、Dブロックの4ブロックにわたる。  
本年度「蹴武の型ベスト4」の選手は、シードとし、別ブロックに配置する。

ブロック毎に1名ずつリング上で謙信、清衡、義家の中、自由選択した蹴武の型を一つ行う。  
Aブロック、Bブロック、Cブロック、Dブロックのブロック勝者を決定する。

### 2、決勝戦

ブロック勝者4名は決勝戦を行う。  
1名ずつリング上で指定型・柳韓を実演し、順位を決定する。

### 2、蹴武型審判

武田敬之、盛島一盛、妹尾将吾の3名とする。  
最高審判長・河明生は、上記審判の判定に対し、最高審判長審議を請求できる。

## 三、セコンド

セコンドは、JTA現役会員に限る。

3名以内とする。

禁止事項

私服は禁じる。セコンドにふさわしい服装を義務づける。元会員やOBは不可。

## 【10】ド - ピング検査

- 1、選抜された選手は、ド - ピング検査に協力し、拒否することはできない。  
ド - ピング検査に協力しない場合、その時点で失格とし、予備出場枠選手を出場させる。
- 2、万一、試合終了後のド - ピング検査により、陽性反応が出た場合、全試合を失格とする。  
その場合、順位を繰り上げる。それによって生じた順位の調整は主催者が定める。
- 3、万一、ド - ピング検査陽性反応が出た場合、氏名と所属を公表し、今後の大会に出場させない。  
それがJTA所属選手の場合、除名し、永久追放とする。

## 【11】大会出場申込書類・申し込み締め切り

### 1、必要書類

- 1) 大会出場申込書（含む誓約書・ド - ピング検査許諾書） 1通
- 2) セコンド登録書 1通
- 3) 正装写真（5cm \* 5cm、裏に氏名明記。3ヶ月以内撮影、画質の良いデジカメ写真可） 2枚
- 4) JTA黒帯道衣着用写真（写真Lサイズ、画質の良いデジカメ写真可）  
組手出場選手 ファイティング・ポーズまたは蹴美の写真  
蹴武型出場選手 蹴武の型の動作（例えば、半後屈立ち + 双龍の構え）
- 5) 簡易健康証明書 1通  
（様式随意。コピー可。学校、企業、官公庁などでの健康診断の結果を記載したものでも可）
- 6) 参加費用振り込み控え（コピー可）

2、参加費用（組手と型の2種目参加も参加費用は同じ）

¥ 1 5、0 0 0

振込手数料は申込者負担。

クラブ・体育会単位で振り込んでも構わない。その場合、選手の氏名を備考欄に明記すること。

参加費振込先

〔口座番号〕 0 0 1 6 0 - 6 - 1 8 5 0 5 8

〔名義〕 日本テコンド - 協会

2、申し込み締め切り

2 0 0 9（平成21）年9月30日迄（厳守）

上記期限迄、申請書が到着しない場合、失格となります。当日消印有効。

ただし、最終予選会の全日本学生テコンドー選手権大会各級1部優勝者は、あらかじめ持参した申請書（写真2枚必要。当日、準備していない場合、全日本大会パンフレットには氏名のみが表示となる）を10月12日午前中に盛島実行委員長に提出し、不足書類は3日以内に本部事務所宛に郵送すること。

3、上記、書類一式郵送先

〒144-0045

東京都大田区南六郷3-18-1-1301

日本テコンド - 協会本部事務所 御中

注意 持参受け取りは一切行わない。

4、問い合わせ

全日本FT大会実行委員長 盛島一盛

携帯090-2218-9443 メールkm@jita.jp

【13】注意事項

- 1、理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
- 2、試合参加申請書および参加費用振込用紙には、必ず所属支部名を明示して下さい。
- 3、選手は必ず各種保険証の現物を持参して下さい。
- 4、後楽園ホールには、ペットボトルや缶の飲み物を持ち込まないで下さい。
- 5、ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。大会主催者と後楽園ホールは一切責任を負いません。
- 6、全日本大会のテレビなどの放映権、書籍、雑誌、ビデオなどの著作権や肖像権などの諸権利はすべてJTAに帰属します。
- 7、ビデオ撮影は原則的に禁止です。

【14】観覧（有料）全席自由席 JTA加盟クラブ、チケットぴあ、後楽園ホールにて販売

一般（高校生以上）	当日3000円（前売り2500円）
小学生・中学生	当日1500円（前売り1000円）
未収学者	無料

チケット問い合わせ先 JTA本部事務所 03-3730-6929 担当 河田スミレ

## 第20回全日本フルコンタクト・テコンド - 選手権 大会参加申込書・誓約書・ドーピング検査許諾書

大会会長 河 明生殿

私は、下記の事項を誓約し、許諾し、全日本大会への出場を申し込みます。

- 1、貴大会の大会規約を遵守し、大会関係者の指導、勧告、注意などに従います。
- 2、貴大会の試合ルールを遵守します。とくに、手による顔面強打は、絶対行いません。  
万一、自己の手による顔面強打により、相手方が負傷し、その治療費が保険金で賄えない場合  
(たとえば、歯の骨折など) 治療費の実費を相手方に弁償します。
- 3、審判の判定に対する絶対性を尊重し、武道家として模範的行動をとることを誓います。  
万一、判定を不服とした自己の行為が、審判に対する侮辱的行為であると大会主催者からみなされた場合、試合結果の無効、除名や試合出場停止処分などの処罰を受けても異議を申し立てません。
- 4、私は、「フルコンタクト・テコンド - は、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、自らの意志により本大会への参加を希望します。  
それゆえ試合において如何なる事故が生じても、自己の責任として処理し、  
本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異議を申し立てないことを誓約します。
- 5、試合により「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。  
民事訴訟などにより、大会主催者およびその関係者に対して民事上の責任を問いません。  
死亡 5千万円、後遺障害(失明など) 5千万円、入院1日6千円、通院1日4千円
- 6、私は、所属支部・道場などを通じて「スポ - ツ安全協会スポ - ツ安全保険」に加入しています。
- 7、尿や血液採取など如何なるド - ピング検査にも全面的に協力し、異議を申し立てません。  
陽性反応が出た場合、氏名・所属団体の公表など定められた罰則に従います。
- 8、本全日本大会の放映権、試合を記録した文章や写真等を利用した書籍、雑誌、ビデオ等の著作権や肖像権等の諸権利は、すべてJ T Aに帰属することに同意し、対価を請求しないことを誓約します。  
上記の一つでも違背した場合、大会主催者の定めた規程および罰則を遵守し、異議を申し立てません。

年 月 日

申請者 住所

(ふりがな)

氏名

印

現段

段

生年月日(西暦)

年

月

日生(

歳)

身長

C m、

体重

K g

血液型

型

所属

住所

電話

出身地(都道府県と市・町・区)

得意技

過去の全日本大会、本年度予選会等成績(必ず記入)

1

2

出場種目

男子無差別級組手

女子無差別級組手

蹴武の型(ブロック予選)

謙信

清衡

義家

第20回全日本フルコンタクト・テコンド - 選手権  
セコンド登録

参加申込書

記

申請選手

印

所属

1, 私は、下記の会員をセコンドとして登録します。

<注意 セコンドは現役会員のみ。OB不可。メイン1名、サブ1名、合計2名迄。チケット必要>

メインセコンド氏名	所属	段・級
サブセコンド氏名	所属	段・級
サブセコンド氏名	所属	段・級

2, 全日本フルコンタクトテコンド-選手権大会出場感想文及び入賞感想文

- 1) 大会前(選手全員) 抱負・思い・決意等の感想文(10月15日迄。厳守)
- 2) 大会後(入賞者のみ) 入賞者の感想文(1週間以内。厳守)

JTA本部HP上に掲載するので、かならず下記へメールしてください。

hp@jita.jp